

平成31年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般 マスタープラン： 3つの挑戦 施策番号

局・課名： 環境局・環境政策課

事業名	環境管理本部事務局	事業費(千円)	平成29年度決算額	平成30年度予算額	平成31年度要求額	
			322	10,317	10,455	
【目的】 市長が定める「堺市環境方針」に基づき、市が所管・使用する全課全施設を対象として、PDCAサイクルに従った管理を行い、大規模事業者として、また公共機関としての堺市の社会的責任を果たすため、市役所の事務・事業における環境配慮を推進し、継続的改善を図る。 【内容】 本市事業におけるエネルギー使用量等の把握や環境取り組みの推進のため、S-EMS(堺市環境マネジメントシステム)を運用する。H23から稼働中の温室効果ガス排出量等管理システムについて、サーバOSの更新に合わせて、H26からの様式変更等に対応するため、システムを再構築する。 ・サーバOSの更新 ・ハードウェアの更新 ・現様式に対応させた仕様に変更 ・表示画面・操作の簡素化 ・各事務局の操作可能分野の拡大 ・各法令における報告書様式への対応 ・不具合の修正 等 【今年度要求のポイント】 サーバOSのサポート切れ(H31.1)、ハードウェアの老朽化へ対応する。現システムについて、H26からの仕様変更に対応できておらず、別途Excel様式で提出してもらっている他、H28からの全庁ごみ分別の細分化や関連法令の報告書様式の変更にも未対応である。旧様式対応のため、未使用の項目もあり、使用者からシステム操作の問い合わせやエラーも多い。現在は主に所有施設のエネルギー使用量の集計・法令報告に活用しているが、全取組単位課がシステム上ですべて完結できるようにすることで、データ管理の簡素化・ペーパーレス化、また職員にデータ等の見える化の機会を増やすことで意識向上を図る。	債務負担行為	期間	要求額(千円)			
		H ~ H				
	主な要求内容 (単位:千円)					
	項目	30年度予算	31年度要求額	内容・積算等		
	温室効果ガス排出量等管理システム再構築	9,975	9,975	債務負担行為現計化		
	システム保守	322	322	委託料等		
	旅費		108	東京3回・大阪市内10回		
	その他	20	50	消耗品等		
	合計	10,317	10,455			
スケジュール(経過及び今後展開)						
【経過(～30年度)】 現システム運用、保守		【31年度】 現システム運用、保守 システム再構築 OS更新		【今後予定(32年度～)】 OS切替 システム切替、運用開始		
その他 特記事項						
みんなの審査会対象外 関連事業：						